

カルメル  
霊性センターニュース



2024年3月 406号

## 目次

目次	1
心の泉	2
通信深読お申込みのご案内	2 2
カルメル会の企画案内	2 3
東京	2 4
京都	2 7
名古屋	3 1
諸所の企画案内	3 2
霊性センターニュース郵送終了のお知らせ	3 6



# 心の泉



宇治カルメル会修道院



## 第三卷

### 第五十九章 すべての希望と信頼とを神に置く

#### 2 試練のなかで神をたたえる

「人は皆、自分の利益を求めます」(フィリピ 2・21)。しかしあなただけは、私の救いと霊的進歩だけを望み、私のよりよい利益のために、すべてをはからってください。私がさまざまな誘惑や不幸にさらされても、それは私の大きな利益のためにはからわれるのです。あなたはつねに愛する者を試されるのです。この試練の時も、天の慰めで私を満たしてくださる時と同様に、あなたは愛され、称賛されますように。

#### 3 唯一の希望である神

愛する主なる神よ、あなたにだけ希望とのがれ場とを見だし、あなたに私の不幸と患難とをささげさせてください。なぜなら、私があなた以外に見るすべては、いずれも弱くはかないものであることを知っているからです。主よ、あなたが私を保護し、助け、慰め、強め、導いてくださらないと、たくさんの友人があっても何の益にもならず、有力な後援者さえも助けにならず、賢明な忠告者も有益な勧めを与えられず、学者の著書も慰めにならず、どんな貴重なものにも救われず、どんな避難所も安全ではないのです。

平安と幸福をもたらすように思われるものも、あなたがおいでにならないと無に等しく、私を幸福にしてくれません。あなたは、すべての善の目的であり、生命の尊さであり、教えの深淵です。何よりも、あなたをよりどころとすることこそ、しもべの深い慰めです。

#### 4 あわれみ深い父に祈る

私はあなたを仰ぎ見ます(詩編 141・8 参照)。私の神よ、あわれみの父よ、「私はあなたにより頼みます」(詩編 25・2)。

天の祝福をもって私の靈魂を祝し、聖としてください。それがあなたの住居、永遠の光栄の座となりますように。神聖なこの住居に、あなたの気高さを汚すものが何一つないように、偉大な慈悲と、「限りないあわれみをもって」(詩編 51・3)、私を顧みてください。死の影の地を遠くさすらう、あわれなしもべの祈りを聞き入れてください。このはかない世の数多い危険のなかで、あなたの小さいしもべの靈魂を守り、保護してください。こうしてあなたの恵みをもって、永遠の光の国に至れるように、平和の道に導いてください。アーメン。》



聖年の聖なる扉

「神はわたしたちをあきらめない。」神のみことばに改めて耳を傾けて、この四旬節を「回心の時、自由の時」とすることが出来ますように。

この四旬節が回心の時であるならば、道に迷った人類は、創造性のおののき、新しい希望の光のひらめきを感じるでしょう。「回心の勇氣、隷属から抜け出す勇氣」を持つようにと教皇フランシスコは呼びかけられています。

### 3月31日 主のご復活おめでとうございます

死に打ち勝ち「復活されたキリスト」は  
「いのちの言葉を人々に伝える使命」を  
わたしたち一人ひとりに託されました

今日もまた わたしたちの平凡な生活の中で。

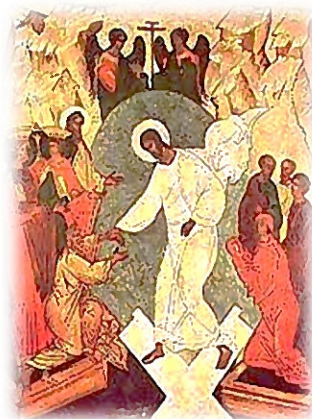
無駄な人生はありません。

無駄な一日もありません。

自分で確認できなくても、「復活されたキリスト」は  
すべての人々と「いのち」を分かち合いたいのです。

「復活されたキリスト」のうちに、「いのち」がみなぎっていることを信じます。  
けれども、さらに深く信じさせてください。

日々の汚れ、いたらなさ、失敗、罪の闇に覆われていても、  
覆われているからこそ キリストの復活の「いのち」を  
さらに固く信じ、希望し、おん父の慈しみに信頼しつづけましょう。  
神に近づくのにふさわしいものになるまで待つ必要はありません。



伊従 信子 (いより のぶこ)  
ノートルダム・ド・ヴィ

## 断捨離の季節

以前、東京の上野毛修道院にいた時、「灰の水曜日」に皆で修道院の大掃除をいたしました。修道院の勝手口の方に積まれている物や倉庫の奥に詰め込まれている物など、全部出して、いらぬものを処分したのですが、実にいろいろな物がありました。こわれた傘から不要になった換気扇、古いストーブなど、取っておいても仕方がない物がたくさん押し込められていました。アントニオ井上修道士が「これ、だれかにあげるよ」と言ったオートバイのヘルメット。手に取ってよく見れば、中は虫が食い、ごきぶりがいました。だれもが始めは捨てるにはもったいないと思い、取っておいたのですが、十年二十年と月日が経つにつれて、みながらくた同然となってしまっていたのです。

きれいさっぱりとなった倉庫や勝手口を見ながら、まさに私たちの心の状態を見ているような気がいたしました。私たちもまた何年もこの世に生きている内に、どうしてもよいものをたくさん心の中にしまい込み、身動きが取れなくなっているように思われるからです。

四旬節は、私たちの心の中にあるこれらの不要なもの、良いものも悪いものも、すべて処分する断捨離の季節、心の大掃除の季節だとは言えないでしょうか。

四旬節第三主日には、神殿の境内から牛や羊をすべて追い出し、両替人の金をまき散らし、台を蹴飛ばし、鳩を売る者たちに「私の父の家を商売の家とするな」と大暴れ？するイエス様の姿が見られます。（初めて読む人の中にはぎょつとする人もいるのですが、これはあくまでも象徴的な預言者の行為。霊的な意味を汲み取るべきでしょう。）

さて、エルサレムの神殿ではなく、私たちの心の中はどうでしょうか。大きな牛やメーメー騒ぐ羊はいないでしょうか。金こそすべてだと言う両替人や鳩や雀を売る者が居座っていないでしょうか。何もかも捨て、すっきりと掃き浄められた心の神殿に、復活された主をお迎えしたいものです。

パウロ 九里 彰神父



# 十字架の聖ヨハネのこぼれ話（188）

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

## 権威の行使において（2）

他の人は、ヨハネが修道者とどのように接していたかを、次のように述べて、教えてくれています。

「彼は、修道者たちと、とても気さくに兄弟のように接していました。けれども彼の人格に対する大きな尊敬や敬意の念を引き起こしていた、彼らみながよく知っていた徳とは、彼が共同体の修道者たちに何かを命令した時、それ行なうのは彼が一番最初だったからです」。

今日、修道共同体の理想の長上を描こうとすると、修道院長の共同体を活気づける役割やその役割の心理的側面について、また活気づけられた現実自体の対神的なかなめとして、また活気づける職務のダイナミズムにおける長上について、非常に多くのことを話すようになってきています。

その時代の修道共同体の構造や様式の中で、十字架のヨハネは、共同体を活気づける行動において真にチャンピオンでした。

彼は、完全に、そのように行動する能力を与えられていました。そう行動するための基礎を見てみましょう。

—話を聞くことができた。

—兄弟たちを肯定的に評価した。

—不注意な者を助けるとか、他者への兄弟愛を促進しようとかの思いで、兄弟的に、また人間的に、また必要であれば何らかの罰を与えるまで、矯正することができた。

これについては、特別な例があります。「彼はある時、修道士たちと休憩時間を過ごしていました。ある兄弟によってなされた誤りに対し、院長（ヨハネ修士）は、彼を咎めた後、“修室に行きなさい”と言いました。その修道士は、修室で罰を果たそうと、その場を去りました。夜になり、夕食後、過失矯正の集会が開かれた時、ヨハネ神父は、その兄弟のために罰を免除するよう嘆願し、執り成しをする兄弟がだれもいなかったことを嘆きました。

(P. 九里訳)

## 四旬節 第3主日

(ヨハネ2:13-15)

本日、教会は四旬節の第三主日を祝います。これまでの二つの四旬節の福音朗読をみると、これらが関連していることがわかります。四旬節第一主日の朗読では、霊がイエスを荒れ野に送り出したとあります。イエスは荒れ野に40日間とどまり、サタンの誘惑をうけられました。イエスは野獣と一緒にでしたが天使たちがつかえていました。これはイエスが神と共にいる荒れ野での経験です。

四旬節第二主日の朗読では、イエスはペトロ、ヤコブ、ヨハネを連れて高い山へ導きました。そこでイエスの姿は彼らの目の前で変わりました。これはイエスの神との出会いの経験の頂点です。本日の福音はイエスによる神殿の清めです。神殿は神との出会いの聖なる場所です。このようにして、荒れ野、山、そして神殿は神との特別な出会いの場所となります。

本日の福音で、私たちはイエスの聖なる怒りをみます。イエスは、異邦人の境内としてしられている外の境内で清めをおこない論議をもたらします。異邦人は、祈りの為にそこに入ることはゆるされていましたが、内部の境内にはゆるされていませんでした。この異邦人の境内では動物が捧げもののために売られ、神殿への捧げもののお金を交換していました。イエスは神殿から両替人や商売人たちを追い払うことで、イエスは人々が罪を贖い、許され、神と正しい関係性に入ることが出来るとする捧げもの制度そのもの全体に疑問を投げかけたのです。「あなたの家を思う熱意が私を食い尽くす」とイエスはいわれます。この熱意が外面的で深みのない宗教上の慣例に挑戦しようとイエスを決心させたのです。キリスト者としての私たちでさえ、私たちの多くが口では神を認めていながら、他の信者たちにスキャンダルをもたらすことになるかもしれない生活様式で神を否定しています

私たちは共同体として神を賛美し、崇めるために一緒に集まり、教会を愛するように呼ばれています。私たちは神と親しく会話をするために教会にくるのです。私たちはお互いに親交を形成し、神のみ言葉で強められます。ですから教会を愛し、聖なるものとしていきましょう。

(Sr. Pauline)



## 四旬節 第4主日（B）

（ヨハネ3：14－21）

今日の話はヨハネ3章のイエスとニコデモの話です。今日の箇所少し前でイエスとニコデモは、「人は新たに生まれなければ神の国を見ることはできない」、「年を取った者がどうして生まれることができますよう」、「新たに生まれなければならないと言ったことに驚いてはならない。風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。例から生まれた者も皆そのとおりである。」、「私が地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところでどうして信じるだろう」といったやり取りがありました。イエス様は地上のことを通して天上のことを説明されようとして、風を見よと言われました。

少し前でイエス様は、「天上のことを話したところでどうして信じるだろう」と言っておられましたが、今日の箇所では天上のことを話しておられません。天上と地上、永遠の命、裁き、光と闇などの話をされています。それでもベースにあるのは、地上の話です。「モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない」。かつて体験してきたこと、そして今体験していることのうちに神が働かれていると言われています。

そして今、イエス様は、「今」のことを話しておられます。あなたは「今」私を見ている。この私をあなたはどう見ているか。私はあなたにとって滅びの裁きをもたらすものか？あるいは救いをもたらすものか？しかし、わたしを今見ているということが実はあなたにとっての裁きになっていることを悟りなさいと言われています。イエスを見るのが私たちへの神の裁きであり、その裁きを通して私たちは救いか、滅びか、と言われています。しかし同時に、神とイエス・キリストの私たちへの思いは「神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、夜を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。」という思いです。しかし私たちはこの神の思いになかなかコミットできません。それは私たちが勝手に神のイメージを作り出しているからかもしれません。信仰の歩みの中で私たちは、自分がつくり出している神から、御父なる神、そしてイエス・キリストの思い、愛へとコミットしていくように招かれており、そのように見えないう神が教育してくれています。信頼をもって歩んでいきましょう。

（P. 志村）

## 四旬節 第5主日 (B)

(ヨハネ 12 : 20 - 33)

「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」

裏切り、逮捕、むち打ち、茨のかんむりと十字架へと続く聖週間はもうすぐです。ヨハネによる福音書では、フィリポとアンドレが人々をイエスへと導く道具の役目を果たし、彼らによってギリシャ人がイエスを知ることができたと描写しています。イエスは、人々が御父の下に来ることができるよう、自分に死ぬことの大切さを強調しています。

「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の命に至る」。これはつまり、自分を捨てて苦しみと犠牲を伴う愛を通じて永遠の命を得るということです。例えば塩は食べ物の中に溶けてしまうことで美味しく味付けます。ろうそくはろうが溶けることで光を放ちます。私たちの親は、キリスト教を土台とした健全な価値観や教育等を子供たちに与えるために自分たちを犠牲にします。自己犠牲の勇ましい姿の例は、受難と死によって罪びとである私たちにいのちを与え、罪がはびこる世界を解放してくださったイエスご自身です。一粒の麦の死が新しい芽を息吹かせるのと同じように、多くの聖なる人たちが自己犠牲的な生涯を送ることで人類に救いがもたらされます。コルカタのマザーテレサこそ、安楽な生き方とキャリアを捨てて最も貧しい人たちに仕えたまばゆい模範です。

キリストの弟子たちは、必要なものに事欠く人たちに手を差しのべるキリストの使命にあずかることに招かれています。この一週間、福音のメッセージを真摯に受けとめて実践しようではありませんか。四旬節中、自己犠牲の精神を持ちながら愛徳のわざを行う恵みを熱心に祈り求めましょう。これこそ、私たちも一緒に復活できるようにと苦しみを受けて十字架につけられたキリストに同伴して一致する最適な方法です。

*(Sr. Paulina)*

## 受難の主日

(マルコ 15 : 1-39)

四旬節も残りわずかとなり、聖週間に入りました。今日は受難の主日、枝の主日とも呼ばれています。今日の福音は受難の物語の後半部分で、イエスがピラトに尋問される部分から始まっています。祭司長たちが集まる最高法院で裁判を受けられたイエスは、ローマ総督ピラトのところに縛って引いてゆかれます。ローマ帝国によって人を死刑に処する権限を奪われている彼らは、総督にイエスのことでいろいろ訴えます。ピラトは人々の要求に応じて、人殺しのバラバを釈放し、イエスを十字架につけることにして、イエスを兵士たちに引き渡します。

総督官邸の中でイエスは、何度も、葦の棒で頭をたたかれ、唾を吐きかけられ、侮辱されます。侮辱されたあげくの果て、紫の服を脱がされて元の服を着せられ、十字架につけられるため外に引き出されます。人となられた神の子イエスは、どのような想いでこの侮辱を、苦難を受けとめられたのでしょうか。

そして十字架への道行が始まります。キレネ人のシモンに十字架を無理に担がせて、ゴルゴタの丘に連れて行き、兵士たちはイエスを十字架につけます。時間は朝の9時。それから「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」＝「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と大声で叫ばれて息を引き取られ亡くなったのが午後3時。神であり人であるお方が、どれほどの苦しい時、惨たらしい時を過ごされたのでしょうか。

それは私たちの罪を担い、私たちを贖うためでした。

十字架につけられたイエスを見て、通りかかった人々は、「おやおや、神殿を打ち倒し、三日で建てる者、十字架から降りて自分を救ってみろ。」と言い、祭司長たちや律法学者たちは一緒になって、代わる代わるイエスを侮辱して「他人は救ったのに、自分は救えない。メシア、イスラエルの王、今すぐ十字架から降りるがいい。それを見たら、信じてやろう。」…と言い、一緒に十字架につけられた者たちも、イエスをののしった。と記されています。これ以外にも沢山の言葉がきっと浴びせられたことでしょう。

私たち一人一人もこの人々の様に言葉と行いで、イエスを傷つけていないでしょうか。イエスの御心、父なる神の御心を侮辱し、悲しませていないでしょうか。受難の主日、主の十字架を眺め、想い、私たちの罪を謙虚に認め悔い改めて、回心して新たな歩みを歩んでゆくことができますように。

(Fr. 古川利雅)

## 復活の主日 (B)

(ヨハネ 20 : 1-9)

今日、教会は祭日の中の祭日であり、キリスト者の信仰の中心といえるご復活をお祝いします。私たちの信仰・希望・キリスト者としての人生の意味はイエスの復活を礎としています。全教会が、私たちのために主が行われた不思議なわざに対する賛美と感謝を込めて「アレルヤ」と高らかに歌います。

今日の福音では、マグダラのマリア、ペトロとヨハネが空っぽの墓で復活を体験します。マグダラのマリアは安息日が明けた朝早く墓に行ったところ、石が既に取りのけてあるのを見てペトロと主が愛しておられる弟子に報告しました。急いで駆けつけた2人の弟子たちは空っぽの墓を見て主の復活を信じました。彼らはそれまでは「死者が復活する」とはどういう意味かを理解できていませんでした。弟子たちは復活という新しい体験を経た結果、完全に変容されて熱意が生まれたのです。イエスの受難と死を目撃した時には恐怖におそわれて希望を失い、身を隠しました。しかしこの復活によって新しいのちと霊が注がれ、キリストの復活の力強い証人となりました。復活は、死と罪に見事に打ち勝ったのです。聖金曜日の悲しみは、復活の喜びへと変えられました。

復活の主日は、よい知らせを宣言し、復活の主の証人となることを私たちに促します。復活が使徒たちの人生に大きく影響したのと同じように、私たちの生き方や信仰もその影響を受けなければなりません。私たちは、復活のメッセンジャーになるようにキリストから招かれています。一人ひとり、  
「イエスは復活された！」と宣べ伝えるべく派遣されているのです。

キリスト・イエスにおける友の皆さま、ご復活おめでとうございます。ご復活の主が苦難の世界に平和と調和の恵みを与えてくださいますように。

*(Sr. Paulina)*



# 跣足カルメル修道会HP (International)

跣足カルメル修道会ローマ本部のホームページ <http://www.carmelitaniscalzi.com>

<< Communications (時事通信) >>

2024年2月2日

教皇フランシスコはイエスのアンナ修道女による奇跡を承認



教皇フランシスコは、2023年12月14日に署名された教令で、アビラの聖テレサの霊的娘であり、十字架の聖ヨハネの友人であったイエスのアンナ修道女に帰せられる奇跡を承認しました。この決定により、イエスのアンナ修道女(アンナ・デ・ロベラ・イ・トーレス、1545-1621)の列福への道が開かれることとなります。

9歳で孤児となったアンナは、1569年にトレドで聖テレジアと出会いました。聖テレジアはアンナの内にある徳を見だし、女子跣足カルメル修道会に入るように招きました。後に、聖テレジアはアンナを「女性指揮官の修道院長」と呼ぶようになりました。アンナ修道女は非常に強い個性と優れた洞察力を持ち、慈善活動で有名でした。母聖テレジアの死後、彼女は聖テレジアのすべての著作を収集し、それらを出版させました。

そして彼女はフランスに女子跣足カルメル修道会の修道院を設立することによって聖テレジアの遺産を受け継ぎ発展させていきました。フランスのパリでは1604年に、1605年にはポントワーズとディジョンに、ベルギーのブリュッセルでは1607年に、ルーヴァンとモンスでは1608年に修道院を設立しました。またポーランドのクラクフでは1612年に修道院の基礎を築き、ベルギーのアンヴェールでは1619年にイギリス人移民の修道院を設立しました。

修道院の設立に捧げられたこれらすべての年月を通して、イエスのアンナ修道女はアビラの聖テレジアの宣教精神と事業をみごとに広げていき、そのために無条件で働き忠実に自己を捧げ尽くしました。

(訳・注:小宮山延子)

# いのちの言葉 3月

神よ、わたしの内に清い心を創造し  
新しく確かな霊を授けてください。<sup>1</sup>

(詩編 51・12)

四句節にあたる今月、私たちに与えられたみ言葉は、詩篇 51 篇 1 2 節の祈りです。『神よ、わたしの内に清い心を創造し新しく確かな霊を授けてください』という嘆願ではじまる、神に謙虚にへりくだる人の祈りです。この詩編は『ミゼレーレ』の名でよく知られる箇所でもあります。詩編の作者のまなざしは、人間の魂の奥底に向けられ、そこにあるものを見極めようとしませんが、それはとりもなおさず、私たち人間が、神との関係においていかに取るに足りない惨めで不完全な存在であるかということです。と同時に、あらゆる恵みと慈しみの根源である神との完全な交わりにたえず飢え渴く人間の姿をそこに見ることができます。

**神よ、わたしの内に清い心を創造し新しく確かな霊を授けてください。**

この詩編は、ダビデ王の生涯におけるとてもよく知られたエピソードからヒントを得ています。ダビデは、イスラエルの民の世話をし、民が常に神との契約に従って歩むよう導く使命を神から与えられました。しかし、ダビデはその使命を逸脱してしまい、ヘト人ウリヤの妻バト・シェバと姦通した後、彼女の夫である家臣ウリヤを計画的に戦死させてしまいます。預言者ナタンは、犯した罪の重さにダビデの目を開かせ、彼がその罪を認めるように助けます。ダビデは自分の罪を告白し神との和解の時が訪れますが、これはその瞬間の祈りです。

**神よ、わたしの内に清い心を創造し新しく確かな霊を授けてください。**

詩篇の作者は、『私の罪をぬぐい』、『私を洗い』、『私を清めてください』という表現で、ダビデの悔恨の思いと神の赦しに心から信頼するダビデの心情を描いています。とくに興味深いのは、人間をその弱さから解放できるのは唯一神だけだということを明確にするために、ここであえて『創造する』という動詞を用いていることです。私たちの内にあらたに「清い心」を創造し、いのちの霊で私たちを満たし、真の喜びを与え、(『確かな霊』)によって、神と人間との関係、生きとし生けるもの、自然、全宇宙との関係、そのすべてを根底から変えることができるのは神だけだと認識しています。

**神よ、わたしの内に清い心を創造し新しく確かな霊を授けてください。**

では、今月のみ言葉をどう生きたらよいでしょうか？何よりもまず、私たちは神から赦していただかなければならない罪人だと心から認め、深い信頼をもって神のはからいに自分を委ねることでしょう。

時には、度重なる失敗に落胆し、自分の殻に閉じこもってしまうこともあるでしょう。そんな時、自分の心の扉をほんの少しだけ開けておく努力が要るでしょう。1940年代初頭、キアラ・ルービックは、自分の惨めさを乗り越えられず苦しんでいる人にこう書いています。「あなたの魂からすべての考えを取り去ってください。あなたが謙虚にへりくだり愛をこめてイエスに罪を打ち明けるとき、あなたはイエスを惹き寄せるのです。これを信じて下さい」 私たちが持っているもの、やっていることは本当に惨めなものです。でも神が私たちに示されるのはいつくしみだけです。私たちが唯一神への贈り物としてお捧げできるものは、自分の美德ではなく、自分の罪です。こうしてのみ私たちは神と深く結ばれます。…もしイエスがこの地上に来られ、人となられたのであれば、イエスが唯一望まれることは何だと思いませんか…『救い主』となること、『医者』になることです！イエスは、他には何もお望みにならないでしょう。』<sup>2</sup>

**神よ、わたしの内に清い心を創造し新しく確かな霊を授けてください。**

そして、罪のゆるしによって解放されたなら、共同体の他の兄弟姉妹と共に会うすべての人を具体的に愛しましょう。「私たちに求められるのは、相互の愛、相手に仕え、理解する愛、兄弟姉妹の苦しみ、心配、喜びを共に分かち合う愛、すべてを覆い、すべてをゆるす、キリスト教の特徴といえる愛」<sup>3</sup>だからです。

最後に、教皇フランシスコは次のように言われます。「神のゆるしこそ…神のいつくしみのもっとも偉大なしるしです。それは、ゆるされた罪人の一人ひとりが、自分たちが会える兄弟姉妹と分かち合うよう招かれている賜物だからです。家族、友人、同僚、小教区の人々など、神が私たちの傍に置いてくださったすべての人が、私たちと同じように神のいつくしみを必要としています。ゆるされることは素晴らしいことですが、もしゆるされたければ、今度はあなたもゆるしてください。どうか、ゆるしてください！…神のゆるしは、私たちの心を清め、人生を変えるものです。どうか神が私たちをご自分のゆるしの証人にしてくださいませように。」<sup>4</sup>

**神よ、わたしの内に清い心を創造し新しく確かな霊を授けてください。**

アウグスト・パロディ・レイエスと「いのちの言葉」編纂チーム

\*いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

1. 日本聖書協会『聖書 新共同訳』
2. キアラ・ルービック、書簡 1943年-1960年、チッタノーバ誌、ローマ 2022: p.350.
3. キアラ・ルービック、「いのちの言葉」2002年5月より抜粋
4. 教皇フランシスコの一般謁見でのスピーチ「罪を清めるいつくしみ」2016年3月30日

連絡先: フォコラーレ 東京 03-3330-5619/03-5370-6424 長崎 095-849-3812  
E-mail: [tokyofocfem@gmail.com](mailto:tokyofocfem@gmail.com) ホームページ: <https://www.focolare.org/japan/>

# カルメル誌 新刊案内



## 2023年 冬号 No.391

《ともに歩むーパンデミックの世界の中で》  
わたしの生活とシボス

中山眞理

カルメルの外のカルメル

—教会の外から見られたアビラの聖テレジアと  
十字架の聖ヨハネ(4)

鶴岡賀雄

奉獻生活における心理学的知性と禁欲の霊性(4)

ウイリー・ソバ

日々の出来事の中で 神の霊は導く(8)

—テレーズ生誕(1873~1897)一五〇周年を迎えて  
伊従信子

風に吹かれて再び(6)—百人隊長

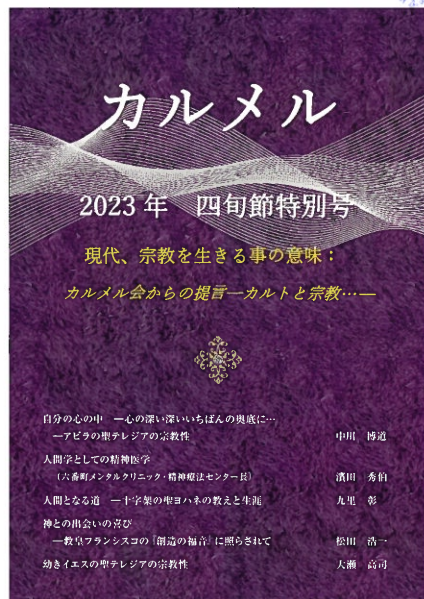
原 造

平和への道(4)

九里 彰

霊的研究会講義録(22) —聖書・祈り・愛について

奥村一郎



## 2023年 特集号

現代、宗教を生きる事の意味:

カルメル会からの提言—カルトと宗教—

自分の心の中—心の深い深いいちばんの奥底に…  
—アビラの聖テレジアの宗教性

中川博道

人間学としての精神医学

濱田秀伯

人間となる道—十字架の聖ヨハネの教えと生涯

九里 彰

神との出会いの喜び

—教皇フランシスコの『創造の福音』に照らされて  
松田浩一

幼きイエスの聖テレジアの宗教性

大瀬高司

ご案内 1冊 580円 A5サイズ 50~70ページ

サンパウロ・ドンボスコ書店・イグナチオ教会案内所・上野毛教会信徒ホール本コーナー・  
各カルメル会黙想の家 他にてお求め下さい

●送付ご希望の方は、760円【580円(+送料180円)】程度の献金を下記へお振込み下さい

●年間での継続送付ご希望の方は、年会費(年5冊:春夏秋冬+特集号 計 3,600円)を  
下記へお振込み下さい

郵便振替:00190-4-195457 跣足カルメル修道会

●お問い合わせは、事務担当:内田幸子宛に上野毛修道院へ手紙かファックス、又は e-mail で。

〒159-0093 世田谷区上野毛 2-14-25 Fax: 03-3704-1764

E-mail: carmelshi.iimu@gmail.com



# 新刊紹介

## 聖マリアとともにイエスのいのちを生きられた ニコラオ・プレシエル神父の講話Ⅱ ロザリオの祈り



Chrysostomus  
小野崎良子 編

## ロザリオの祈り

聖マリアとともにイエスのいのちを生きられた  
ニコラオ・プレシエル神父の講話Ⅱ

【出版社】 教友社

【著 者】 小野崎良子：編

価格 1,650 円（税込）

品番/ISBN: 9784907991807

発売/発行年月: 2022 年 3 月

判型: A5

ページ数: 184

中川博道師  
(カルメル会)  
《推薦》

聖母マリアは、「イエスを愛し、信じて生きるキリスト者の典型・模範」です（教会憲章 53 番）。ニコラオ師はロザリオを通して、日々私たちが、イエスの神秘をマリアとともに生きる道をわかりやすく説明してくださりました。

教友社定価 (1,500 円＋税)

「ニコラオ神父様が、ロザリオの祈りを捧げながら歩いているときに、突然十五の玄義の流れが鮮明に示され、ご自分の中でまとまったその内容をわたしたちに語られました」（「はじめに」より）。ニコラオ師亡き後、師の薫陶を受けた信徒たちによって記録された講話が 1 冊の本に。中川博道師（カルメル会）推薦。

### 小野崎 良子(おのざき・りょうこ)

1950 年夕張市大夕張の炭鉱の町に生まれる。小学 4 年生の時、「クリスマスにはプレゼントがもらえる」という級友の誘いに乗り、高校卒業まで熱心にカトリック教会に通う。その後地元を離れ旭川の学校に進学。青春を謳歌する日々の中、ふと感じた「空虚さ」を確かめるために再度教会(大町教会)を訪ねる。そこでニコラオ神父様に出会い受洗にいたる。

39 年間の教職生活を終えた後、ラジオで流れたキャロル・サック 宣教師の歌とハーブに触発され、日本福音ルーテル社団主催「リラ・プレカリア(祈りのたて琴)研修講座」にて 2 年間の養成を受ける。現在は求めに応じて、病床にある方、高齢者などを訪問し歌とハーブによる祈りをお届けしている。

### ニコラオ・プレシエル神父

1921 年、(旧)チェコスロバキアに生まれる。1940 年、ドイツ軍無線通信兵として従軍。

1946 年、フランシスコ会に入会(ドイツ・フルダ管区)し、1952 年、司祭に叙階される。

1953 年、来日。1956 年、カトリック名寄教会着任。以後、美唄教会、大町(旭川)教会、枝幸教会、稚内・枝幸教会、富良野教会にて司牧。

2001 年以後、フランシスコ会札幌修道院、月形町藤の園にて療養する。

2007 年 1 月 6 日、月形町藤の園にて帰天(85 歳)。

## 書籍紹介

十字架の聖ヨハネ理解のための

待望の書 翻訳刊行



## 『十字架の聖ヨハネの霊性』

フェデリコ・ルイス師の講話  
〈十字架の聖ヨハネ・霊性神学研究の第一人者〉

著者：フェデリコ・ルイス

訳者：九里 彰

判型：B6 判並製

ページ数：184 ページ

価格：本体 1,600 円+税

ISBN：978-4-8056-3918-4 C0016

発行：サンパウロ

スペインで「詩人の守護聖人」と称される十字架の聖ヨハネは、日常生活の中で神との親密な関係を生き、キリストと、隣人との愛の交わりを生きた聖人でした。自身の神体験を詩で表し、自らそれを解説し、著作として残しています。彼は決して近寄り難い人物だったわけではなく、バランスの取れた温厚な人でした。

インターネットや AI が発達する、「霊性の時代」といわれる現代において、神との出会いを生きる真の意味を、十字架の聖ヨハネの思想、生涯の中に探ることができます。

十字架聖ヨハネを正しく理解することは、霊性を正しく理解することの基礎となっていきます。

フェデリコ・ルイス・サルバドル

1933 年スペイン、バレンシア生まれ。1950 年跣足カルメル修道会入会。

1957 年司祭叙階。ローマ・カルメル会国際神学大学テレジア・ヌム教授。

2018 年 10 月 27 日マドリードにて帰天。享年 85 歳

九里 彰

カイルメル修道会司祭。1981 年上智大学大学院哲学専攻、博士後期課程修了。1990 年カルメル会入会。1997 年司祭叙階。1999~2002 年スペイン留学。カルメル修道会 元日本地区総長代理。現在、金沢広坂修道院院長



# 書籍案内

## 生きる意味

### ●キリスト教への問いかけ

清水正之・鶴岡賀雄・桑原直己・釘宮明美 編

A5判・312頁・2500円+税

ISBN978-4-87232-100-5

東日本大震災と原発事故によって喚起された「生きる意味」という愚直な問い。その答えを示すことこそが、「宗教」である。グローバル化に伴う経済格差、労働のあり方、宗教の役割など——危機にさらされている人間の救済の道を探る。

#### ————— 目次 —————

- 序 「生きる意味への問いかけ」がなされる場をめぐって／鶴岡賀雄
- 1 東日本大震災と宗教／中下大樹
- 2 宗教と社会と自治体の災害時協力／稲場圭信
- 3 東日本大震災に思うこと／佐藤純一
- 4 脱原発の倫理／久保文彦
- 5 何のために働くのか／神谷秀樹
- 6 グローバル化する経済の中の人間／勝俣 誠
- 7 私たちの社会に希望はあるか？／宮台真司
- 8 関係の倫理学／清水正之
- 9 宗教が医療・医学に果たした役割、果たすことが期待されている役割／加藤 敏
- 10 V・フランクルのロゴセラピー／桑原直己
- 11 「神の子となる」——カルメルの霊性と共に／★九里 彰★
- 12 「おかげさま」の言語化と生き方による霊性化／中野東禅
- 13 エディット・シュタイン『十字架の学問』への道とその霊性／釘宮明美

オリエンス宗教研究所 TEL:03-3322-7601 FAX:03-3325-5322

ご注文は全国のキリスト教書店、オリエンスHP、FAX、ネット書店などへ

# 愛と英知の道

—すべての人のための霊性神学—

ウィリアム・ジョンストン 著

監訳 九里 彰  
 岡島 禮子 三好 洋子 渡辺 愛子 共訳



西洋と東洋の神秘主義の伝統に通暁した著者が、21世紀というグローバル化し、「地球家族」となった現代世界のすべてのキリスト者に遺した霊的生涯の道しるべ。「すべての人は、聖職位階に属している人も、あるいはそれによって牧されている人も、皆聖性へと召されている。『あなたが聖なる者となること、これが神の望みである』と使徒が言っているとおりである」（『教会憲章』39）。

本書は、十字架の聖ヨハネが16世紀に向けてなしたことを、21世紀に向けて行なおうとする、ささやかな試みです。言いかえると、その目的は、命の水を渴望する人たちへ、観想的な祈りを教えることです。筆者は、主にキリスト信者を念頭に置いて筆を進めますが、真理の探究において私どもと心を一つにしておられる方々にも、本書を勧めています。

ウィリアム・ジョンストン William Johnston S.J. (1925-2010)  
 北アイルランドのベルファストに生まれる。  
 イエズス会に入会し、26歳で来日。  
 32歳で司祭に叙階され、以後、英語、英文学、宗教学を上智大学などで講じるがたわら、東西の宗教思想、特に神秘主義の研究と普及に尽力。パドロー・アルベ、トマス・マートン、ダライ・ラマ、永井隆、速藤周作との出会いを通して、次々と著作を発表。現代に則した霊性探求の先駆者として、世界に広く知られている。85歳で帰天。



## 第一部 キリスト教の伝統

- 第1章 誓 愿(1)
- 第2章 誓 愿(2)
- 第3章 理性対神秘主義
- 第4章 神秘主義と愛
- 第5章 東方のキリスト教
- 第6章 愛を通して生まれる英知

## 第二部 対 話

- 第7章 科学と神秘神学
- 第8章 修徳主義とアジア
- 第9章 神秘主義と根源的なエネルギー
- 第10章 英知と(空)

## 第三部 現代の神秘的な旅

- 第11章 信仰の旅
- 第12章 浄化の道
- 第13章 暗夜
- 第14章 (愛のうちにある)
- 第15章 花嫁と花婿
- 第16章 一 致
- 第17章 英 知
- 第18章 活 動
- 第19章 社会活動の神秘主義





**第2版  
好評発売中!**

福者マリー=ユジェーヌ神父に導かれて  
十字架の聖ヨハネの  
**ひかりの道をゆく**

伊従 信子 編・訳

ISBN978-4-88216-372-5 C0195

定価**540**円(税込)

【聖母文庫】**287**



マリー = ユジェーヌ神父が十字架の聖ヨハネ  
を生き、体験し、確認した教えなのです。  
ですから、十六世紀の十字架の聖ヨハネの  
教えは現代の人々にも十分適応されます。  
また、神の命を伝え、実践的手段を示して  
聖性の最も高い段階へと導こうとする彼の  
配慮が伝わってきます。(「はじめに」より)

神と親しく生きる  
**いのりの道**

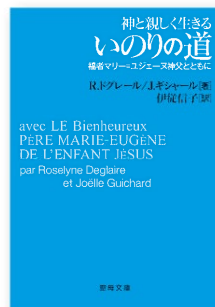
福者マリー=ユジェーヌ神父とともに

**R. ドグレール / J. ギシャル 著**

伊従 信子 訳

ISBN978-4-88216-307-7 C0195 【聖母文庫】**246**

定価**540**円(税込) 209頁



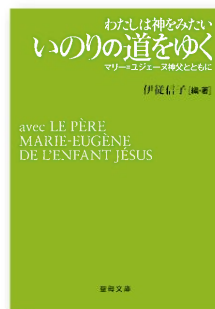
わたしは神をみたい  
**いのりの道をゆく**

マリー=ユジェーヌ神父とともに

伊従 信子 編・著

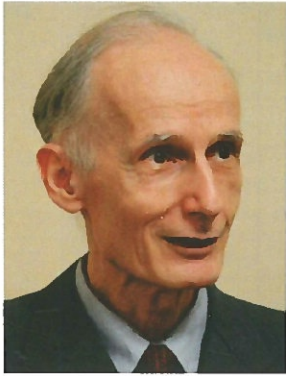
ISBN978-4-88216-339-8 C0195 【聖母文庫】**268**

定価**648**円(税込) 281頁



ご注文・お問い合わせ先

**聖母の騎士社** ☎850-0012 長崎市本河内2-2-1  
TEL.095-824-2080 FAX.095-823-5340



# クラウス・リーゼンフーバー小著作集

(全五巻) 四六版・434頁～628頁

各巻 本体 3,800～5,000 円+税

著者は日本における中世哲学研究を牽引し、広汎にわたるキリスト教思想史の著述や編集・出版を手がけてきた。宗教家としても、キリスト教信者のみならず信仰に初めて出会う一般社会人と広く向き合い、講座や黙想会などを開いてキリスト教の精神と実践、信仰における超越との関わりを伝えている。人間の自己理解から出発し、聖書と哲学的な理解とを構築して、キリスト教信仰と霊性を現代人にとって生き生きとした形で展開している。講義、執筆活動をとおして西洋古代・中世さらに現代哲学思想をわかりやすく説く。この著作集は40余年の著述活動による150余の小論考からなっており、霊的な信仰理解と人間の経験とを結びつけて互いに支え合うものとして示そうとするものである。

人生の意義の解明と存在への問い。人生をめぐる哲学的・思想史的・人間論的な諸観点のもとで、聖書に基づいて第一根源である神を中心に展開する。

		ISBN
第1巻	<b>I 超越体験 一宗教論</b> 宗教の人間論的基礎付けを「意義への問い」という観点から考察した宗教哲学論文集。宗教的理解と経験がキリスト教的精神に基づいて絡み合い、人間の心を考察して全体の根源的な起源へ向ける。全11作、434p	定価(本体+税) 9784862852151 3,800 円+税
第2巻	<b>II 真理と神秘 一聖書の黙想</b> 日常生活を貫いて人間とかがわる絶対的神秘を、聖書を紐解きつつ多面的な観点から浮き彫りにする。超越との関係を求める人に向けて、宗教的経験を解明する。全35作、544p	978-4862852175 4,600 円+税
第3巻	<b>III 信仰と幸い 一キリスト教の本質</b> 主の祈り、信条の命題に沿って信仰の全体像を解説。「山上の説教」とおして人生における艱難辛苦にも焦点を合わせる。十字を切ることの意味など、聖霊の神学と霊性から信仰生活の深みを照らす。全38作、628p	9784862852205 5,000 円+税
第4巻	<b>IV 思惟の歴史 一哲学・神学的小論</b> 古代から中世のキリスト教思想史の考察の上に立脚し、現代における信仰をめぐる根本的な問いを洞察する。人間と神理解の可能性を新たに広げて信仰生活の深みに掘下げる。全41作、448p	9784862852212 4,000 円+税
第5巻	<b>V 自己の解明 一根源への問いと坐禅による実践</b> 信仰との関わり方の薄い現代人に向け、自己への問いから発した人生の意義と超越への方向付けを見出す実践的な道筋を示唆する。「今」を中心とする存在論・時間論を展開した最終講義「時間です!」収録。全35作、470p	9784862852229 4,200 円+税

## ●リーゼンフーバー、クラウス [Riesenhuber, Klaus]

1938年ドイツ生まれ。1958年イェズス会入会。1967年ミュンヘン大学哲学博士。同年来日。1969年上智大学文学部哲学科専任講師。1971年東京で司祭叙階。1974年上智大学中世思想研究所所長(-2004)。1981年上智大学教授。1989年上智大学神学博士。国公立大学で客員・非常勤講師。放送大学客員教授。2009年上智大学名誉教授。現在は哲学的人間論および宗教哲学などの講座を開講。

知 泉 書 館

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-13-2 TEL: 03-3814-6161 FAX: 03-3814-6166

<http://www.chisen.co.jp>



## 朝日カルチャーセンターの 通信深読「聖書に親しむ」へのご案内

「通信深読」は、「聖書深読黙想会」にさまざまな理由で参加できない方々のために考案されました。参加を希望される方は、下記の朝日カルチャーセンター通信講座課へお申し込みください。手続きがすめば、次のような手順でこの「通信深読」が行われてゆきます。

### ファースト・ステップ

「個人素読」：毎月、朝日カルチャーセンターから指定された聖書深読箇所を、ひとりで繰り返し読み、み言葉を自由に黙想します。

### セカンド・ステップ

「個人素読」の報告書作成：送られてきた用紙（B5用紙）に、深読箇所特に印象に残った節を二三ヶ所選び、番号と○や△や×などの記号を記し、「全」には、全体の印象を表す、ご自分の体験と結びついた具体的な名詞を、「照」にはみ言葉を実践する決意を示す動詞を書き込みます。さらに「所感」や「近況報告・質問」の欄に、ご自由に自分の考えや質問等を記入します。

### サード・ステップ

（参加者から朝日カルチャーセンターへ送られた「個人素読」の報告書は、参加者全員のもものがまとめられ、講師へ送られます。）

講師が各参加者の「個人素読」の報告書に対しコメントし、深読箇所の「解説」（A4 2枚）と共に、朝日カルチャーセンターへ送り返します。

### フォース・ステップ

コメントされた全員の「個人素読」の報告書（「近況報告・質問」はプライベートなこともあるので、削除されます）と「総合素読表」、そして講師の「解説」が冊子となり、各参加者に、センターから送られます。

\* 費用：6ヶ月（20,360円）。納入は4月、7月、10月、1月。継続の場合19,130円。

\* 講師：九里彰師（奇数月）、今泉健師（偶数月）

\* 問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル

私書箱21号 朝日カルチャーセンター通信講座課

Tel: 03-3344-2527（直通）

## カルメル会の企画案内



カルメル会の標語

**Zelo zelatus sum pro Domino Deo exercituum**

私は万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました（列王記上 19 : 10）





## 東京 上野毛 霊性センター

黙想企画 \*\*上野毛 聖テレジア修道院 (黙想) \*\*  
(2024年3月～)

- ・青年黙想会 (男女) 35歳まで (初日16時～最終日16時) カルメル会士  
2024年 3月23日 (土) ～24日 (日)
- ・聖書深読黙想会 (土曜日18時～日曜日16時) カルメル会士  
2024年  
4月20日～21日 11月9日～10日  
5月25日～26日 2025年  
7月27日～28日 1月11日～12日  
9月28日～29日 3月15日～16日
- ・奉獻生活者のための黙想会 (初日17時～最終日朝食) カルメル会士  
2024年8月16日 (金) ～25日 (日)

★教会の祈り (時課の祈り) を軸とした 黙想の場を提供いたします。

12月27日 (金) ～1月5日 (日)

### 【ご利用に際して】

- ・介助やサポートなしで生活できる方、年齢は80歳までとさせていただきます。
- ・上記に抵触する方はお問合せ下さい。
- ・個人の場合はご家族・ご親族に、奉獻生活者の場合は長上にお申込者の状況をお伺いした上で、利用をご遠慮願う場合もありますのでご了承下さい。
- ・部屋は2・3階でエレベーターはありません。階段をサポートなしに  
1人で昇り降りできない方はご利用いただけません。



- \* 日程、指導司祭は変更される可能性もあります。お申込みの際には、ホームページ (<http://www.carmel-monastery.jp>) なども合わせてご覧下さい。
- \* こちらに掲載されている以外の日時にもご利用可能です (グループ、個人いずれも)。お気軽にお問い合わせください。
- \* 間違いを避けるため、お問い合わせは FAX・はがき・Eメール等、文書でお送り頂きますと幸いです。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25  
聖テレジア修道院 (黙想)

Tel:03-5706-7355 Fax:03-3704-1789

Eメール : [mokusou\\_kmng@carmel-monastery.jp](mailto:mokusou_kmng@carmel-monastery.jp)

ホームページ : <http://www.carmel-monastery.jp>

# 2024年 カルメル会四旬節講話シリーズ

「わたしたちを愛に導くのは信頼、ただ信頼だけです」(聖テレーズのメッセージ)  
聖テレーズ生誕 150 周年記念 教皇フランシスコ使徒的勧告『信頼』に導かれて…

- 第1回 2月18日(四旬節第1主日)  
「私は愛になりましょう」—愛の道を飛んでいくために— 今泉健神父
- 第2回 2月25日(四旬節第2主日)  
詩『むしられたバラ』より —テレーズの愛の道— 九里彰神父
- 第3回 3月3日(四旬節第3主日)  
「テレーズの信頼の道・小さい道とヤコブ・イスラエルにおける小さい道」  
志村武神父
- 第4回 3月10日(四旬節第4主日)  
「現代の闇を照らす灯火—テレーズの信仰の試練」  
片山はるひ(上智大学教授:ノートルダム・ド・ヴィ会員)
- 第5回 3月17日(四旬節第5主日)  
「小さな偉大さ」 伊従信子(ノートルダム・ド・ヴィ会員)

- ・会場:東京世田谷区上野毛2-14-25(東急大井町線「上野毛」下車  
徒歩5分) カルメル修道会 聖堂
- ・開始時間:14:00 講話後 当日のミサがあります。
- ・オンラインでもご視聴いただけます。ライブ配信ではありません。翌日からのご視聴になります。

アクセスコード URL:

<https://www.youtube.com/channel/UCUG7JhdLCoCF-tZ6uei5YpA>

主催:カルメル修道会  
お問い合わせ:「四旬節講話係」  
reisei@carmel-monastery.jp



## 宇治カルメル会 黙想会案内 (2024年3月～2025年3月)

**【一般のための黙想】** 1泊2日 (土曜 午後5時～日曜午後4時) 中川博道神父  
5:30 サルヴェ・レジーナ (修道院) から開始

2024年

4月13日～14日 7月20日～21日 9月14日～15日 11月16日～17日

2025年

1月18日～19日 3月1日～2日

**【聖書深読】** (土曜午前10時～午後4時) 中川博道神父

2024年

4月6日 6月8日 9月28日 11月30日

2025年

1月11日 3月15日

**【水曜黙想会】** (午前10時～午後4時) 中川博道神父

2024年

3月20日 4月17日 5月15日 6月12日

7月17日 9月11日 **変更**→18日 10月16日 11月27日 **変更**→20日

2025年

1月22日 2月19日 3月19日

**【カルメルの霊性】** (午後5時～午後4時)

カルメル山の聖母 7月14日(日)～15日(月) 中川博道神父

幼き聖テレジア 9月28日(土)～29日(日) 松田浩一神父

十字架の聖ヨハネ 12月21日(土)～22日(日) 中川博道神父

**【ゴールデンウィーク黙想会】** 中川博道神父

4月27日(土) 午後5時～5月4日(土) 朝食

参加者は全日通しでもどの日からでも期間は自由

**【祈りの学校 入門編】** (火曜 午前10時～午後4時) 松田浩一神父

2024年

3月19日 4月9日 5月7日 6月4日 7月2日

9月17日 11月12日 12月3日

**【祈りの学校 教会の祈り】** (木曜 午前10時～午後4時) 松田浩一神父

2024年

3月21日 4月18日 5月23日 6月20日 7月11日

9月26日 10月17日 11月14日 12月19日



**【奉献生活者の黙想】**（午後5時～午前9時）

2024年

3月4日（月）～13日（水）中川博道神父（一般可）

8月9日（金）～18日（日）松田浩一神父（奉献者のみ）

10月7日（月）～16日（水）中川博道神父（一般可）

12月27日（金）～1月5日（日）中川博道神父（一般可）

2025年

3月4日（火）～13日（木）中川博道神父（一般可）

**【青年男女のための黙想会】**（35歳以下） 松田浩一神父

1泊2日（土曜 午後5時～日曜午後4時 日曜のみ参加可）

2024年

4月20日～21日 6月15日～16日 10月19日～20日

－その他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします－

☆お申し込みは電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、お申込み下さい。お電話はなるべく午前9時～午後5時の間にお願い致します。受付が休みの場合はその場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様にお願い致します。

聖書は各部屋に備えております。またタオル類も準備してありますが、コロナ感染症対策のため各自専用分を持参してもかまいません。

現在は感染防止策のため人数制限をしていますので黙想参加希望の方は早めのお申し込みをお勧めします。

また参加の際には三密回避などを心がける様ご協力お願い申し上げます。



〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12  
宇治カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）  
Tel 0774-32-7016 Fax 0774-66-1191  
E-Mail:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp  
<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

## 「祈りの学校」(2024年度)

キリスト教の祈りを学び、実践する企画です。イエス様から教会へ伝承された「祈り」に基づいて、そして教会の中で培われた「祈り」について学んでいきます。



**日時(入門編)** : 1月30日(火) 2月20日(火)、3月19日(火)、4月9日(火)、5月7日(火)、6月4日(火)、7月2日(火)、9月17日(火)、11月12日(火)、12月3日(火)

**\*日時(教会の祈り)** : 1月11日(木)、2月13日(火)、3月21日(木)、4月18日(木)、5月23日(木)、6月20日(木)、7月11日(木)、9月26日(木)、10月17日(木)、11月14日(木)、12月19日(木)

いずれも、10時から16時まで

場所 : 宇治聖テレジア修道院(黙想)

指導 : 松田浩一 神父 (男子カルメル修道会)

持参するもの : ノート、筆記、ロザリオ (\*『教会の祈り』)

お問合せ・お申込みは、FAX、ハガキ、E-mailにてお願いします。

〒158-0093 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12

カルメル会宇治聖テレジア修道院(黙想)

Fax 0774-32-7456

E-mail : teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

## 教皇フランシスコの著作を学びましょう

日時：① 2024年2月10日（土）PM5時～2月11日（日）PM5時

② 2024年4月20日（土）PM5時～4月21日（日）PM5時

③ 2024年6月15日（土）PM5時～6月16日（日）PM5時

④ 2024年10月19日（土）PM5時～10月20日（日）PM5時



（尚、日曜日 PM4時から京都女子カルメル修道院でミサの予定）

- ① 教皇来日講話集：『すべてのいのちを守るため』
- ② 使徒的勧告 『喜びに喜べ』
- ③ 使徒的勧告 『愛のよろこび』
- ④ 回勅 『ラウダート・シー』と使徒的勧告『ラウダーテ・デウム』

教皇フランシスコは、現在起こっている各地の戦争を憂慮しています。日本も国際社会の一員として他人ごとではありません。私たちの思いを凌駕する神の思いとは何でしょう。人間の正義を凌駕する神の義は「いつくしみ」とテレーズは言います。教皇の著作からこのことを学ぶことに致しましょう。

場 所：宇治聖テレジア修道院（黙想）

対 象：35歳までの青年男女

参加費用：下記のEメールか、FAXでご確認ください。

講話と同伴：松田浩一神父

申込み：〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12

カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

FAX：0774-32-7457

Email：teresiauji@mountain.ocn.ne.jp



旧約聖書から学ぶキリスト教霊性  
—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

2024年3月16日（14：30～16：30）

民数記の全体構造とメッセージ② 新世代

2024年4月20日（14：30～16：30）

ヨシュア紀の全体構造とメッセージ

その後の日程：4月20日、5月18日、6月22日、7月20日、9月21日

その後のテーマ：士師記の全体構造とメッセージ、サムエル記の全体構造とメッセージ①、②、列王記の全体構造とメッセージ、エズラ・ネヘミヤ記の全体構造とメッセージ、など

持ち物：必ず聖書（旧約＋新約）をご持参ください。

場所：跣足カルメル修道会日比野修道院（カトリック日比野教会）

参加費無料。

担当：志村武神父（跣足カルメル修道会）

問合せ：日比野修道院（052-671-1003）

---

静修の集い（名古屋日比野修道院）

2024年3月9日（土）10：00～15：00

テーマ：リジューの聖テレーズにおける信頼の道

講話担当司祭：志村武神父

【スケジュール】

10：00～10：20 はじめの祈り

10：30～11：30 講話①

11：30～12：00 ご聖体顕示、念祷

12：00～13：00 昼食（各自持参）

13：00～14：00 講話②、

14：10～ミサ、その後茶話会、解散（15：00頃）

持ち物：聖書、昼食（各自）、お持ちの方は『カルメル山登攀』

参加費：無料（自由献金をお願いいたします）



# 諸所の企画案内



## 真命山 霊性交流センター サダナ瞑想 慈しみ深き会

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。  
記載には注意を期しておりますが、  
詳細は各問い合わせにご照会下さい。  
よろしくお願い致します。

**テーマ 真の幸せへの道**  
「…あなたがたは喜びで満たされる」  
(ヨハネ16.24)

毎月第2木曜日(10:00~15:00)  
予約は前日の16:00まで

- 1月11日 「イエスは…群衆を見て、山に登られた」(ソットコロノラ・フランコ神父)  
2月 8日 「神よ…あなたのほかに しあわせはない」(ソットコロノラ・フランコ神父)  
3月14日 心の貧しい人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)  
4月11日 悲しむ人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)  
5月 9日 柔和な人々は、幸いである(Sr. マリア・デ・ジョルジ)  
6月13日 義に飢え渴く人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)  
7月11日 憐れみ深い人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)  
8月 休み  
9月12日 心の清い人々は、幸いである(コデノッティ・クラウディオ神父)  
10月10日 平和を実現する人々は、幸いである(Sr. マリア・デ・ジョルジ)  
11月14日 義のために迫害される人々は、幸いである  
(コデノッティ・クラウディオ神父)  
12月12日 喜びなさい。大いに喜びなさい。(コデノッティ・クラウディオ神父)



・個人またはグループでの黙想会  
研修会も歓迎いたします(要予約)

申込先

真命山 諸宗教対話センター  
865-0133 熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7  
e-mail: [shinmeizan@gmail.com](mailto:shinmeizan@gmail.com)

[www.shinmeizan.com](http://www.shinmeizan.com)

Tel:0968-85-3100

Fax:0968-85-3186

# サダナ瞑想 ～東洋の瞑想とキリスト者の祈り～

プログラムの詳細、開催状況、補充情報などはホームページをご覧ください。

<http://sadhana.jp/>

申込み受付・・開始日の8日前まで

コース	日時	指導	開催場所	申込み
フォローアップ	4/14(日) 9:30-17:00	Fr 植栗	シャルトル 聖パウロ修道女会 九段修道院 (千代田区九段北)	来間(くるま) 裕美子※ *ショートメールは避けてください。 Tel: 090-5325-2518 sadhana12378@ yahoo.co.jp
入門A	4/21(日) 9:30-17:00	同上	援助修道会 リヒト宣教室 /新宿区市ヶ谷田町	同上
那須 リピーターの会	4/27(土)9:00- 29(月・祝)14:00 (前泊可)	同上	ベタニア修道女会 ヨゼフ山の家/栃木 県那須郡那須町	同上
ダイアリー	5/2(木)17:30- 6(月・祝)16:00	同上	上石神井無原罪聖母 修道院/練馬区上石 神井	同上
名古屋入門A	5/12(日) 9:30-17:00	同上	聖霊会 八事修道院 ミッションセンター /名古屋市昭和区	攪上(かくあげ)暁子 Tel:050-7108-7410 ngosdn@gmail.com
入門B	5/19(日) 9:30-17:00	同上	援助修道会 リヒト宣教室	来間(くるま) 裕美子※
サダナI	5/23(木)17:30- 5/26(日)16:00	同上	小金井聖霊修道院 /小金井市桜町	同上

※申し込まれると確認メールが返信されます。確認メールが届かない場合は090-5325-2518(来間)までお問い合わせください。

※不在の場合は、渡辺由子/Tel & Fax: 042-325-7554

- フォローアップおよびリピーターへの参加…サダナIを終えていること。
- 入門Cへの参加…入門Aまたは入門Bを終えていること。



# 祈りの集い

～沈黙の内に神を求めて～

今年は1月1日に、能登半島地震が起き、輪島市、珠洲市など、能登地方の人々は、家の倒壊、道路の地割れなど、甚大な被害を受けました。233名の方が亡くなられ、1175人が怪我をされ、1万5309人が今なお避難生活を余儀なくされています(1月23日現在)。一日も早く平穏な生活に戻れるよう、心からお祈りしたいと思います。

今年度の「祈りの集い」の前半では、「祈りについての講話」をいたします。いままで、アビラの聖テレジアや十字架の聖ヨハネ、モーリス・ズンデルや聖書などをテキストとして使用してまいりましたが、今回は、ウィリアム・ジョンストン神父の著作『愛と英知の道 ――すべての人のための霊性神学』(2017年、サンパウロ社)を少しずつ読みながら、祈りについての理解を深めて行きたいと思います。

後半では、すべての存在(無機物から植物や動物や人間)を支えておられる、憐れみ深い神の前にありのままの自分を置き、祈りの内に神との交わりを深め、神の声に静かに耳を傾けて行きましょう。

場所:イグナチオ教会岐部ホール 404号室

(JR・地下鉄丸ノ内線・南北線四ツ谷駅徒歩1分)

時間:以下の木曜日、13:30～15:30

3月14日            5月9日

7月11日           9月12日

11月14日

主催:慈しみ深き会

指導:<sup>くのり</sup>九里 彰神父(カルメル修道会)

\*参加費無料(献金歓迎)

\*問い合わせ先:042-473-6287 篠原(11:00～20:00)



# 『靈性センターニュース』

## \* 郵送終了のお知らせ \*

『カルメル靈性センターニュース』はWeb掲載移行に伴い、  
冊子の発行を終了しております。

これまで月刊誌として郵送を行って参りましたが、今後は  
Webにてご覧下さいます様、お願い致します。

宇治カルメル会修道院ホームページ

<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

「カルメル靈性センターニュース」(PDF)をクリック  
過去のバックナンバーも揃って掲載しております。  
どうぞご利用下さい。

また引き続きご献金もお願いしております。

郵便番号口座： 00910-6-333184  
加入者名： カルメル靈性センターニュース事務局

何かご質問等があれば、事務局の方にご連絡ください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12  
カルメル会宇治修道院 「靈性センターニュース事務局」  
Tel:0774-32-7456  
Fax:0774-32-7457

[reisei@carmel-monastery.jp](mailto:reisei@carmel-monastery.jp)

男子跣足カルメル修道会のホームページ

<http://www.carmel-monastery.jp>

Google:「カルメル会」で検索できます



男子跣足カルメル修道会  
Order of Discalced Carmelites

靈性センターニュース掲載の情報も載っています

